



愛着のある地区を応援できる



整備した剪定機で植え込みの手入れをする温江区長

Q ふるさと納税の寄附金の活用事例を教えてください。
A 「ふるさと応援プロジェクト『地域づくり推進事業』」への寄附は「ふるさと応援補助金」として活用されています。ふるさと応援補助金は、ふるさと納税を申し込む際に「与謝野町ふるさと応援補助金に活用」を希望し、地区指定した場合に補助金の原資となり、各区のコミュニティ活動に関する申請に対し補助金を交付する仕組みです。

ふるさと納税の活用事例



寄附者に送付している補助金活用レポート

この制度は、与謝野町を離れても「自分の愛着のある地区のために活用してほしい」という寄附者のふるさとに対する思いや意向を反映しやすい制度になっています。しかし、「ふるさと応援補助金に活用」を選ばれても、地区指定をしていない寄附者も多くおられます。地区指定がないと各区に補助金として交付できないため、町外に居住のご家族やお知り合いの方に「地区も指定してね」とお伝えください。

今年度は2自治区が活用

令和4年度は、温江区と岩屋区が本補助金を活用。温江区では公民館の備品や植栽剪定機の整備、

クラウドファンディング型ふるさと納税活用事業を実施します

与謝野町では、地域課題の解決に取り組む町内の中小企業や地域団体などを支援するため、今年度からクラウドファンディング型ふるさと納税を活用した資金調達による「与謝野町クラウドファンディング型ふるさと納税活用事業」を実施しており、以下の2件の事業を採択しました。

事業名	事業者名
地域を元気にするカフェ ZIP CAFE 整備事業	株式会社シオノ鋳工
ホップのまちからビールのまちへ。京都・与謝野でのビール醸造所づくり。	株式会社ローカルフラッグ

岩屋区では公民館にエアコンを設置されました。なお、寄附者には活用実績レポートを送付し、寄附によるまちづくりを実感してもらっています。



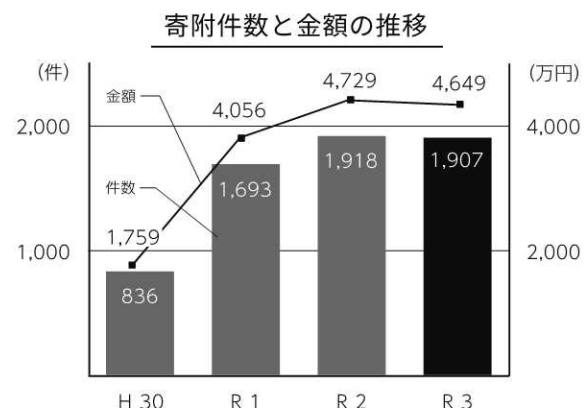
町ホームページ（ふるさと応援補助金活用レポート）

担当者へ聞く /

地区のコミュニティ活動にも活用してます！

ふるさと納税

昨今、テレビや雑誌などで多く取り上げられている「ふるさと納税」。与謝野町でも、事業者と連携しながら地域性のある返礼品を取りそろえており、全国各地から寄附をいただいています。今月号は、本町のふるさと納税の状況と活用事例についてお知らせします。 企画財政課 ☎ 43-9015



Q 与謝野町のふるさと納税の現状を教えてください。
A 令和3年度のふるさと納税は、1904件で約4649万円となっています。寄附をいただいている地域は東京都がもっとも多く、上位3地域を見ると、京都府以外の方からも与謝野町に関心を持たれていることがわかります。返礼品については、全国的に見ると食品や飲み物の人気が高くなっていますが、与謝野町ではシルクなど織物商品の人気が高くなっています。

返礼品ランキング

(令和3年度寄附件数ベース)

- 1 シルクの枕カバー 479件
- 2 丹後ばらずし 150件
- 3 クラフトビール 65件

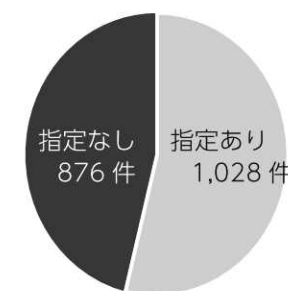
寄附件数都道府県ランキング

(令和3年度地域別)

- 1 東京都 525件
- 2 大阪府 157件
- 3 神奈川県 152件
- 4 京都府 117件
- 5 愛知県 113件

Q 与謝野町への寄附の中で、どの事業・プロジェクトへの使途指定が多いですか。

A 寄附者の半数以上の方が使途指定をされています。ふるさと納税は「返礼品が目的」と思われることがありますが、事業やプロジェクトに対する共感の寄附も増えています。昨年度、寄附金の使途を指定した事業・プロジェクトとして、国重要文化財の123号蒸気機関車を含む3車両を保存するためのクラウドファンディング型ふるさと納税を実施し、多くの寄附をいただき覆屋の建築に活用しました。



※ 令和3年度寄附件数から算出

順位	事業名	金額 (千円)	件数
1	総合計画の7分野	21,744	810
2	クラウドファンディング型ふるさと納税	2,072	81
3	与謝野ホップ応援プロジェクト「特色ある農業推進事業」	1,204	64
4	ふるさと応援プロジェクト「地域づくり推進事業」	1,967	54
5	まちなかまるごとキャンパス応援プロジェクト「よさのみらい大学事業」	304	10
6	大江山活用・保全応援プロジェクト「スポーツイベント運営支援事業」	244	9